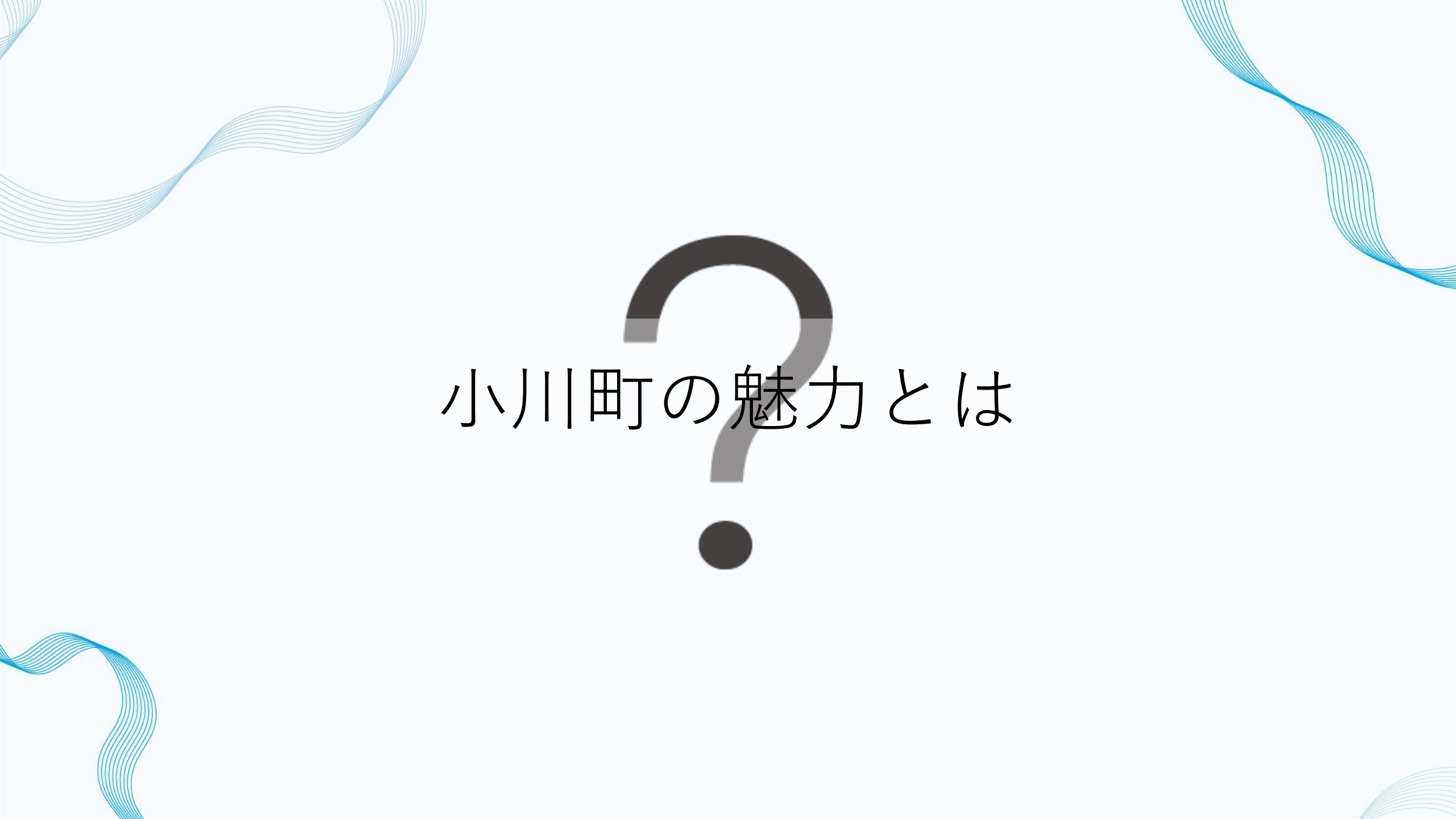


The background features decorative blue wavy lines in the corners, resembling stylized sound waves or flowing ribbons. These lines are composed of multiple thin, parallel lines that create a sense of movement and depth.

音を巡る

末永・山岸・小暮

The background features decorative blue wavy lines in the corners, composed of multiple thin, parallel lines that create a sense of movement and depth. The text is centered and reads:

小川町の魅力とは



山ある暮らし



川ある暮らし



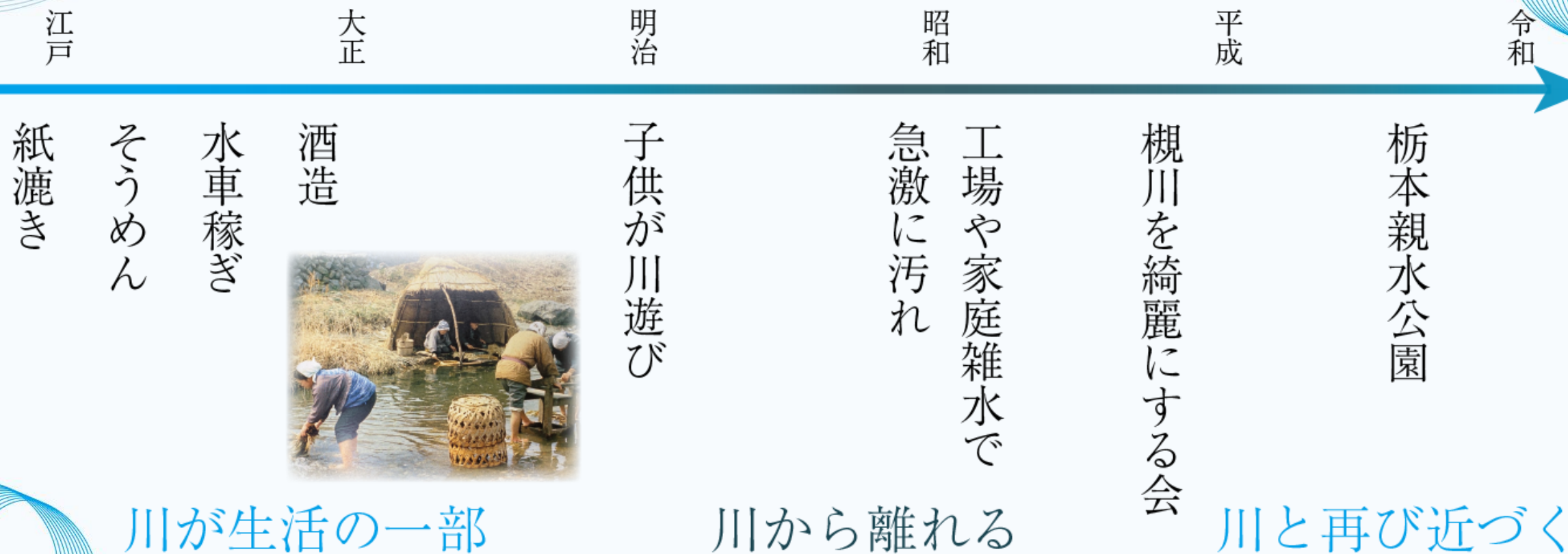
農ある暮らし



産業ある暮らし



小川町と川の関わり年表





人と川の距離を再び近づける栃本親水公園の誕生

基本情報

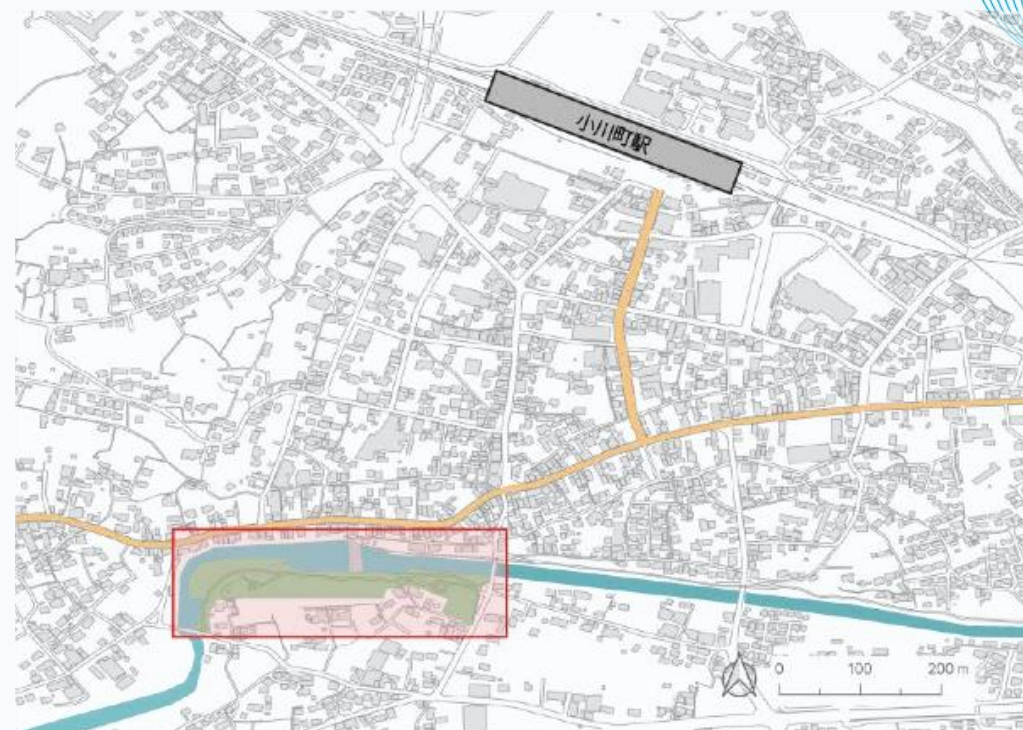
埼玉県比企郡小川町
栃本親水公園

面積：0.83ha

供用開始日：平成 27 年 4 月

駅からの距離：徒歩 10 分

槻川を有する親水性の高い公園



現地で聞かれた音





A background map of a village with a river. The map is overlaid with colored zones representing different sound sources: orange for water flowing over a weir, green for water falling over a drop, yellow for bird sounds, and cyan for water wheel sounds. Concentric circles of these colors are centered on specific locations on the map, indicating the spread of these sounds.

	堰を流れ落ちる水の音
	段差を流れ落ちる水の音
	鳥の鳴き声
	水車の音



音で溢れている



でも一つ一つの音に集中できる環境はない



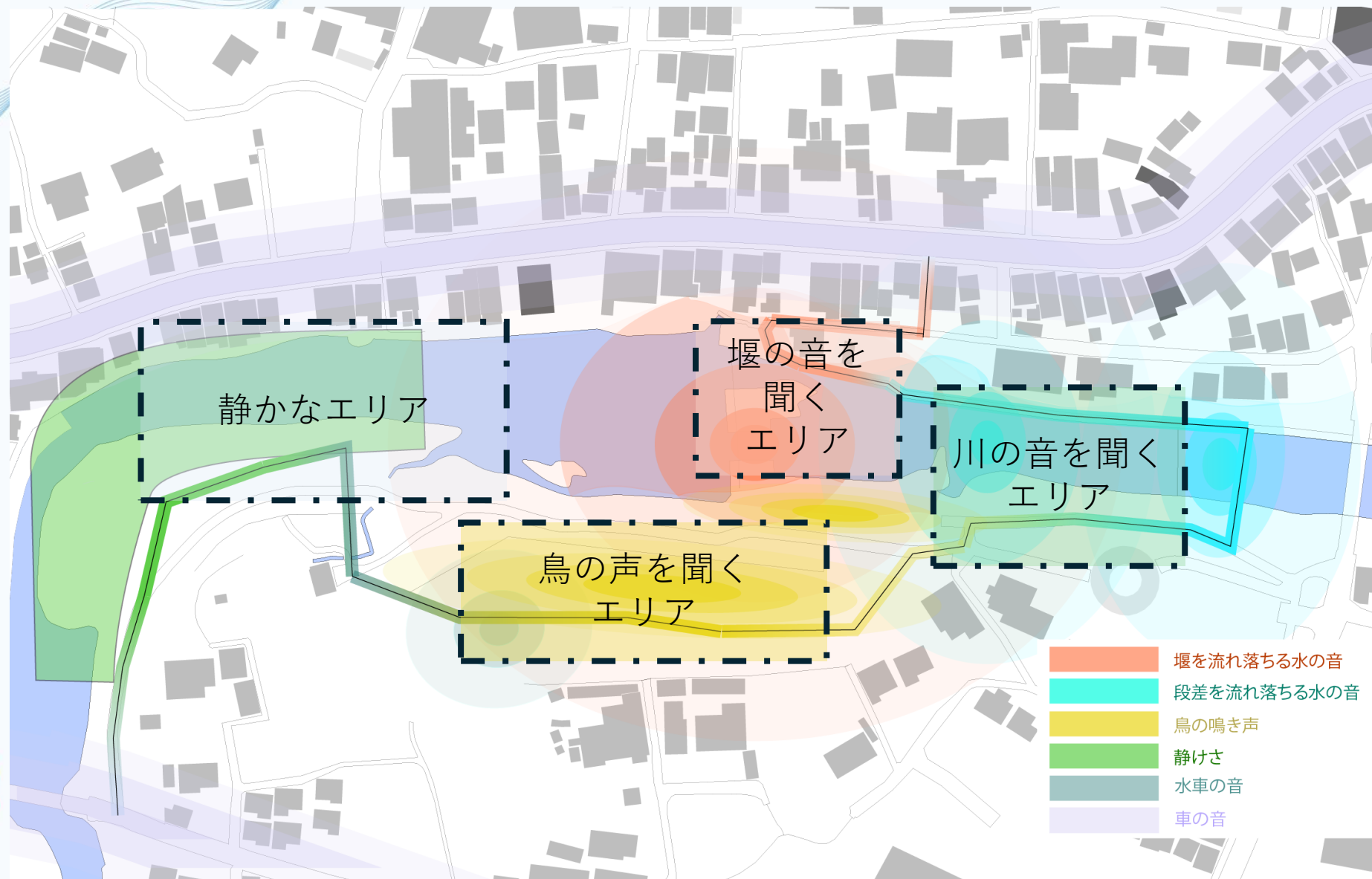
音を巡る

水の音。風の音。鳥の声。

自然のオーケストラにつつまれて、いつしか私の一部になっていく。
普段は気づかないけれど、確かにそこに存在している、私と街を繋ぐ音。

さあ、音とめぐろう。

音に集中できる4つのエリア



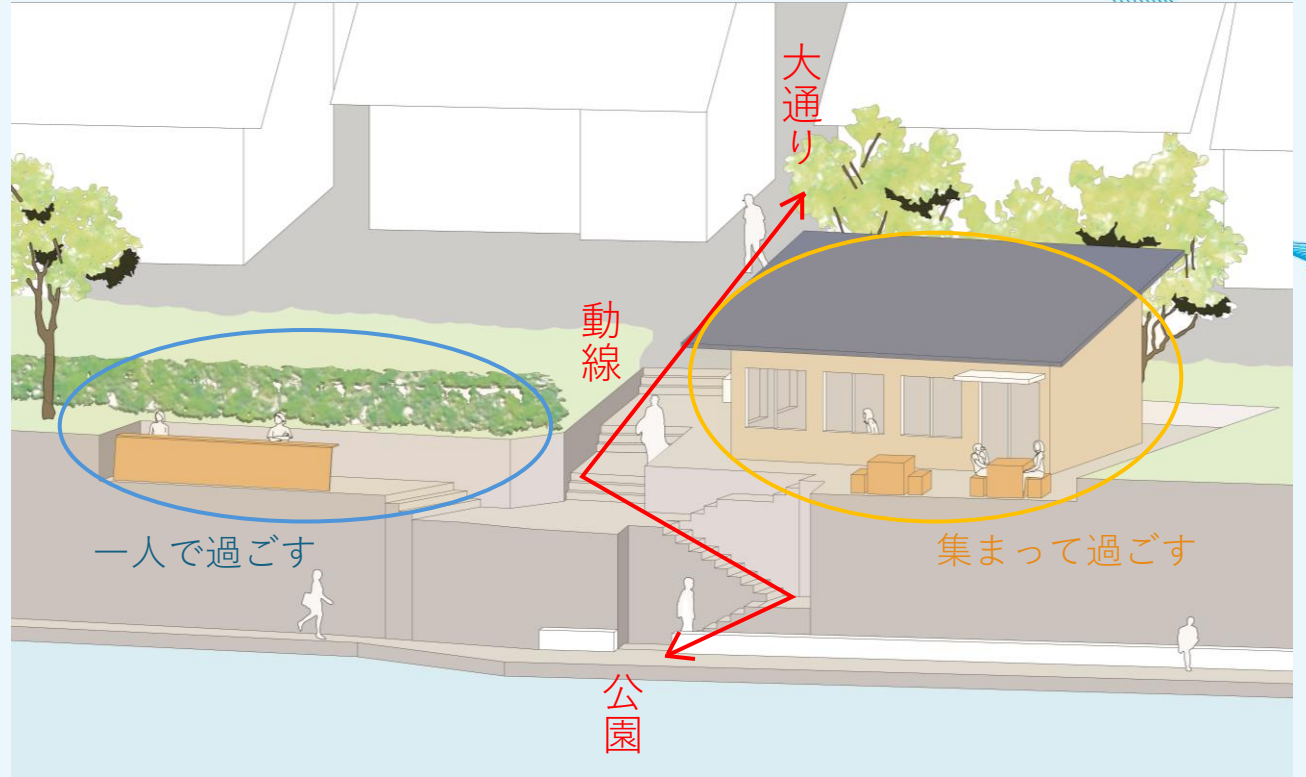
堰の音を聴く



- 堰から水が流れ落ちる音は非常に大きく、迫力がある
- 公園北の崖の上の空き地は、堰の音を聴く上で程良い距離にある



堰の音を聴く



- 複数人で滞在しやすい場所と、一人で滞在しやすい場所をセットで作る。
- 一人で滞在しやすい場所は、賑わい・通過交通から隔てられる。
- 特に大通りから公園に入った人にとって、堰の音は車の音からの逃避先となる。

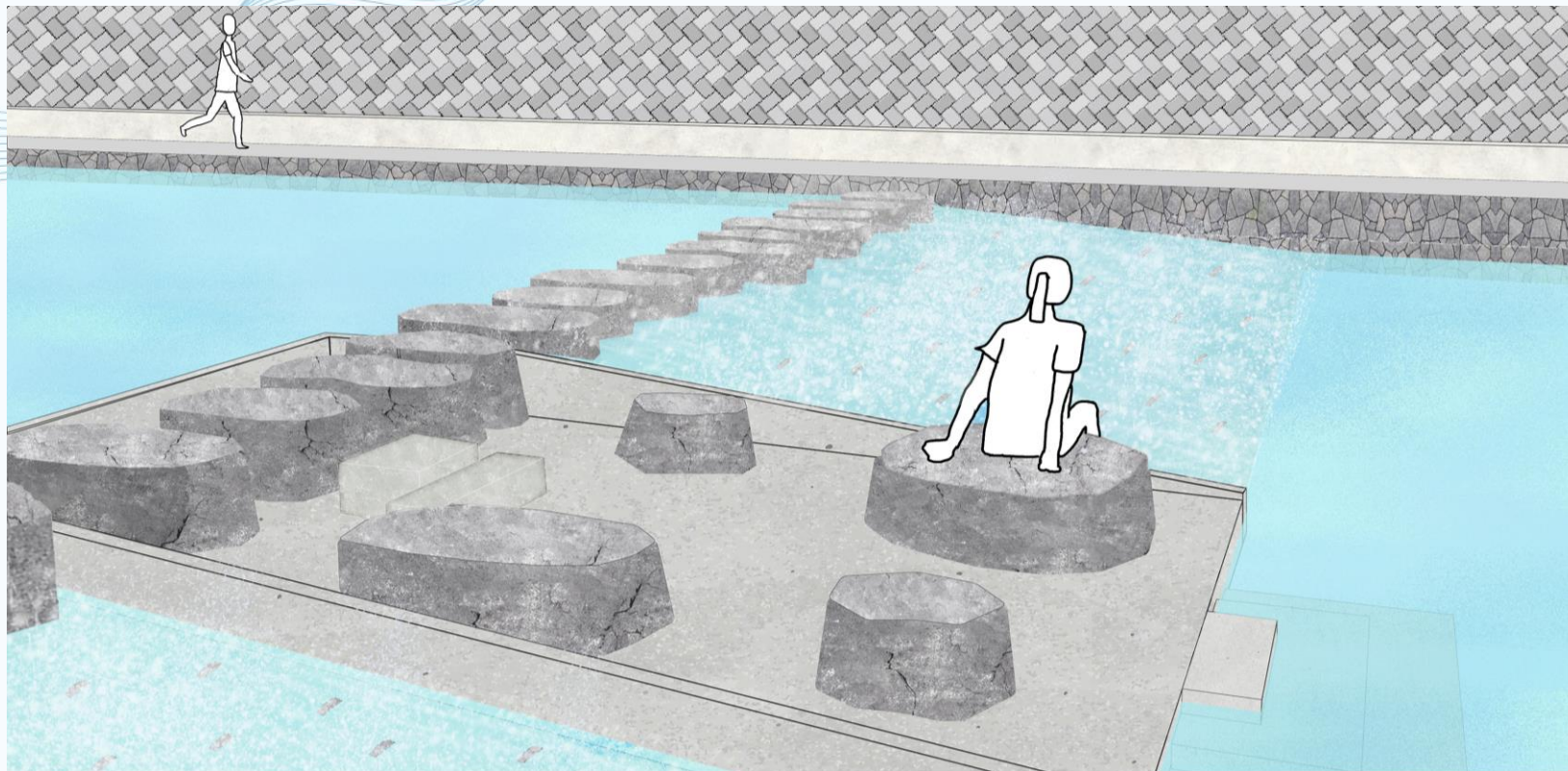
段差の音を聴く



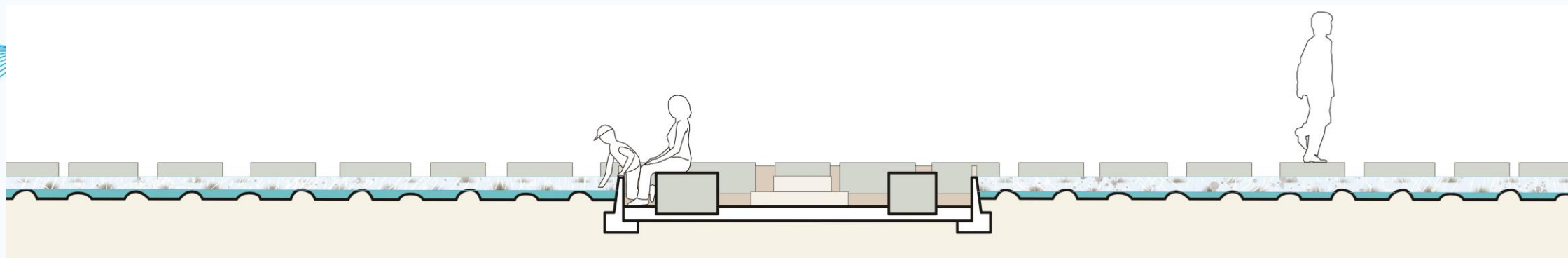
- 飛石の側、ゴツゴツとしたブロックの上を流れ落ちる水の音
- しゃがんで耳を近づけると、高音が華やか



段差の音を聴く



- 傾斜部を掘り込んで、水面より低い床を作る
- 腰掛けると、自然に水面に近づく



鳥の声を聴く



- 公園の南側、柵の外のケヤキ林
- 落葉の前までは、鳥の声が聞こえる



鳥の声を聴く



- 常緑樹を植え、1年を通して鳥の居場所となる木立を作る。
- 木立の中を抜ける細い木道を通す。
- 木立の南北にはシラカシ等の常緑樹を多めに植えて、外からの音を遮る。



- 常緑樹：
シラカシ、アラカシ、クロガネモチ、ヤブツバキ、ソヨゴ、ツツジなど
- 落葉樹：
ケヤキ、クヌギ、コナラ、イチョウ、イロハモミジなど
- 地衣類：
クマザサ、シダ類など

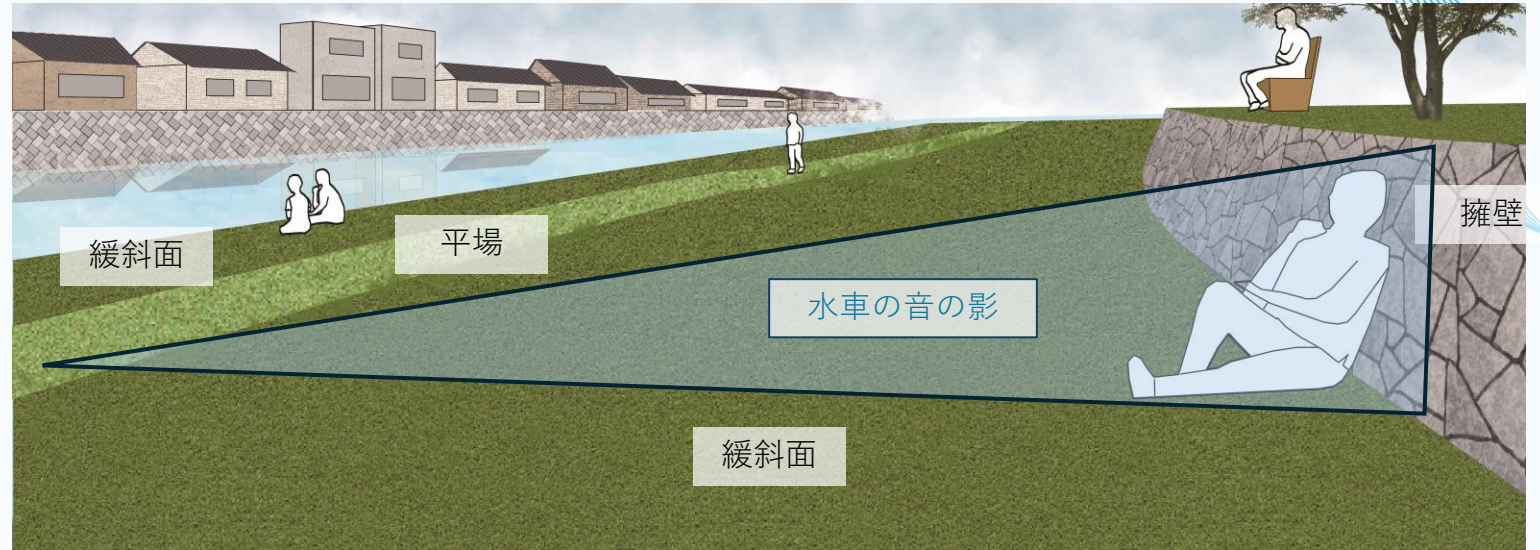
静けさを聴く



- 川のカーブの内側にできた斜面
- 非常に静かな場所で、風の無い日には対岸の建物が水面に映り込む
- センダングサ等が茂り、立ち入りにくい

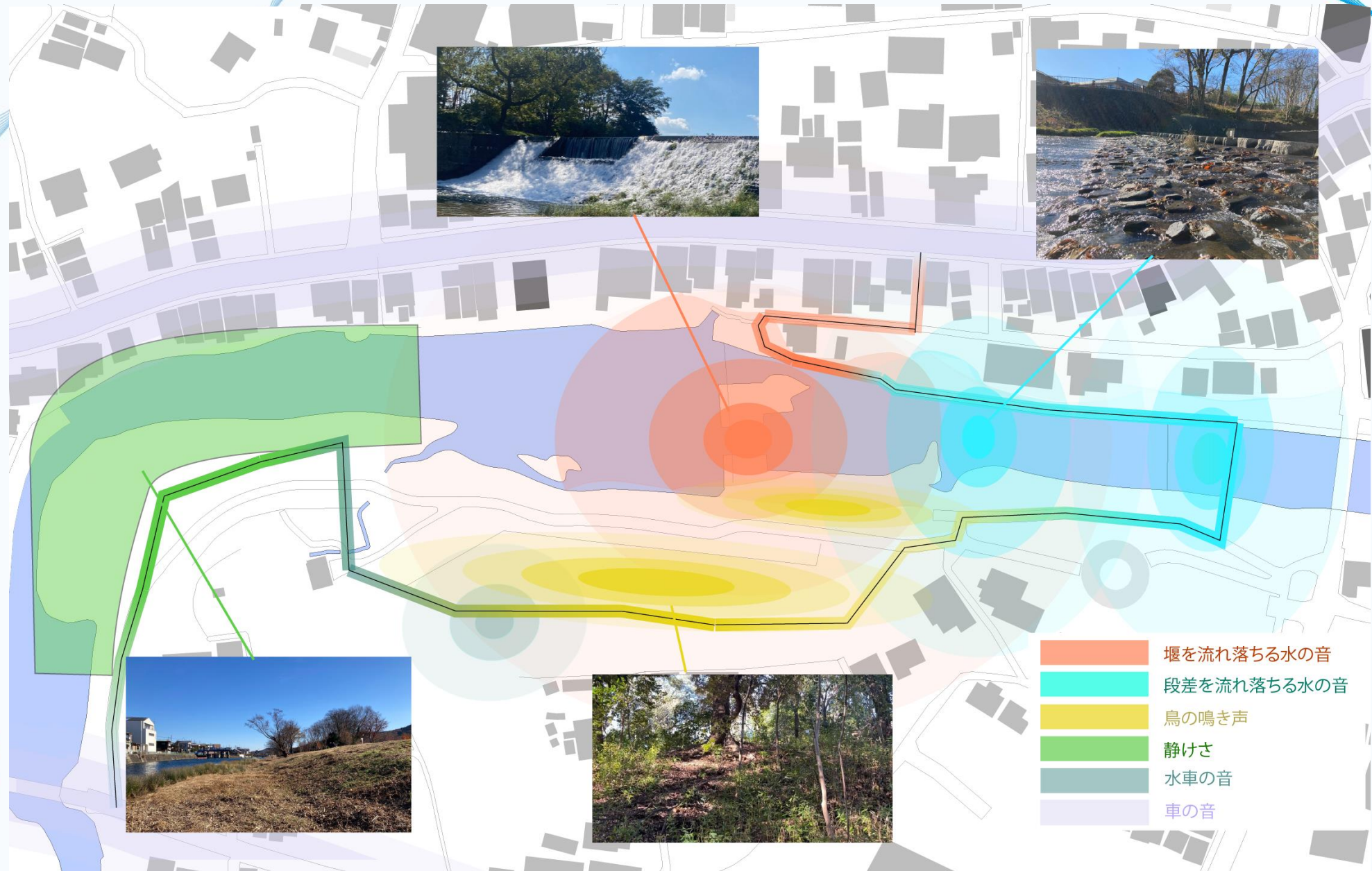


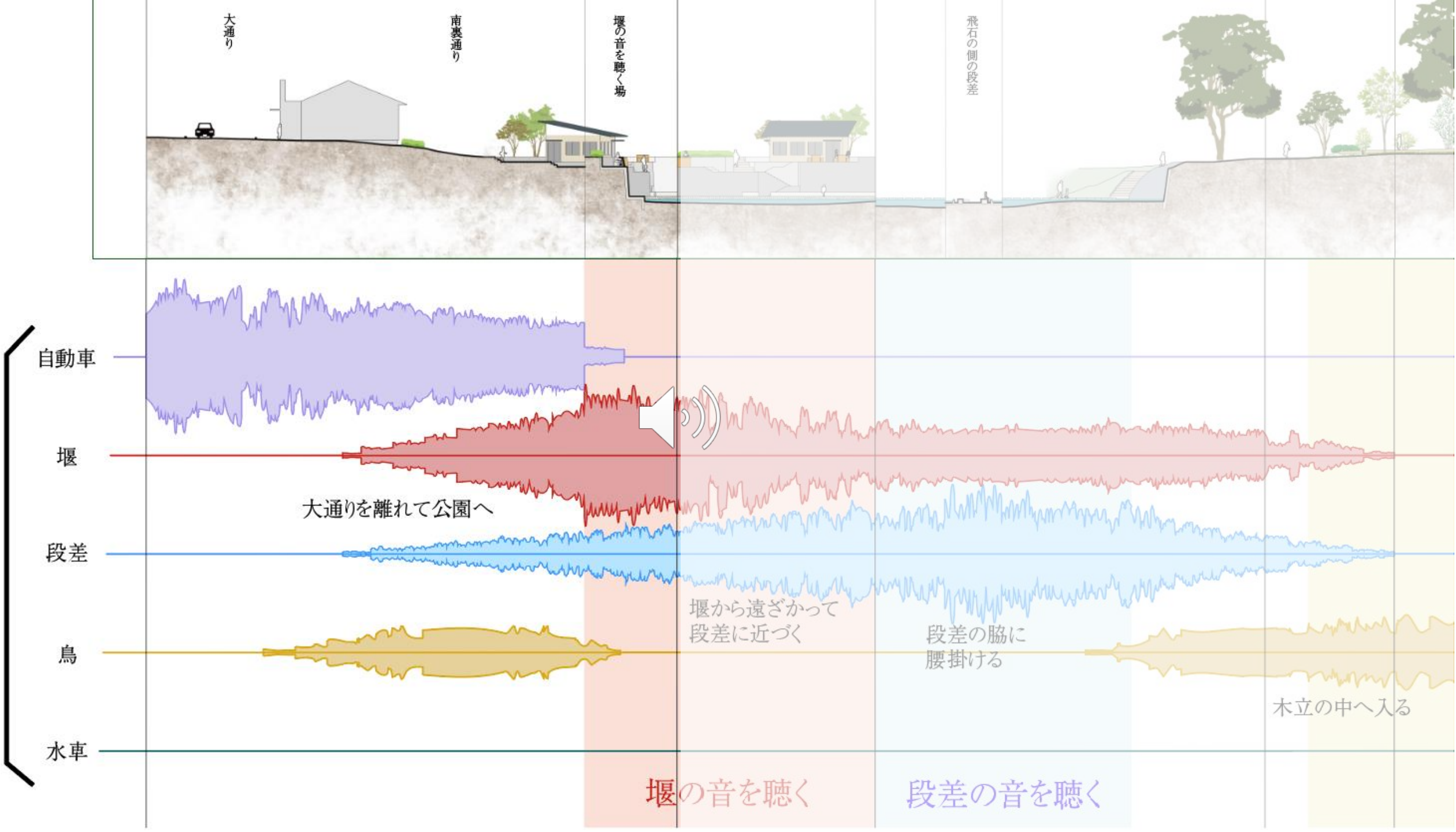
静けさを聴く

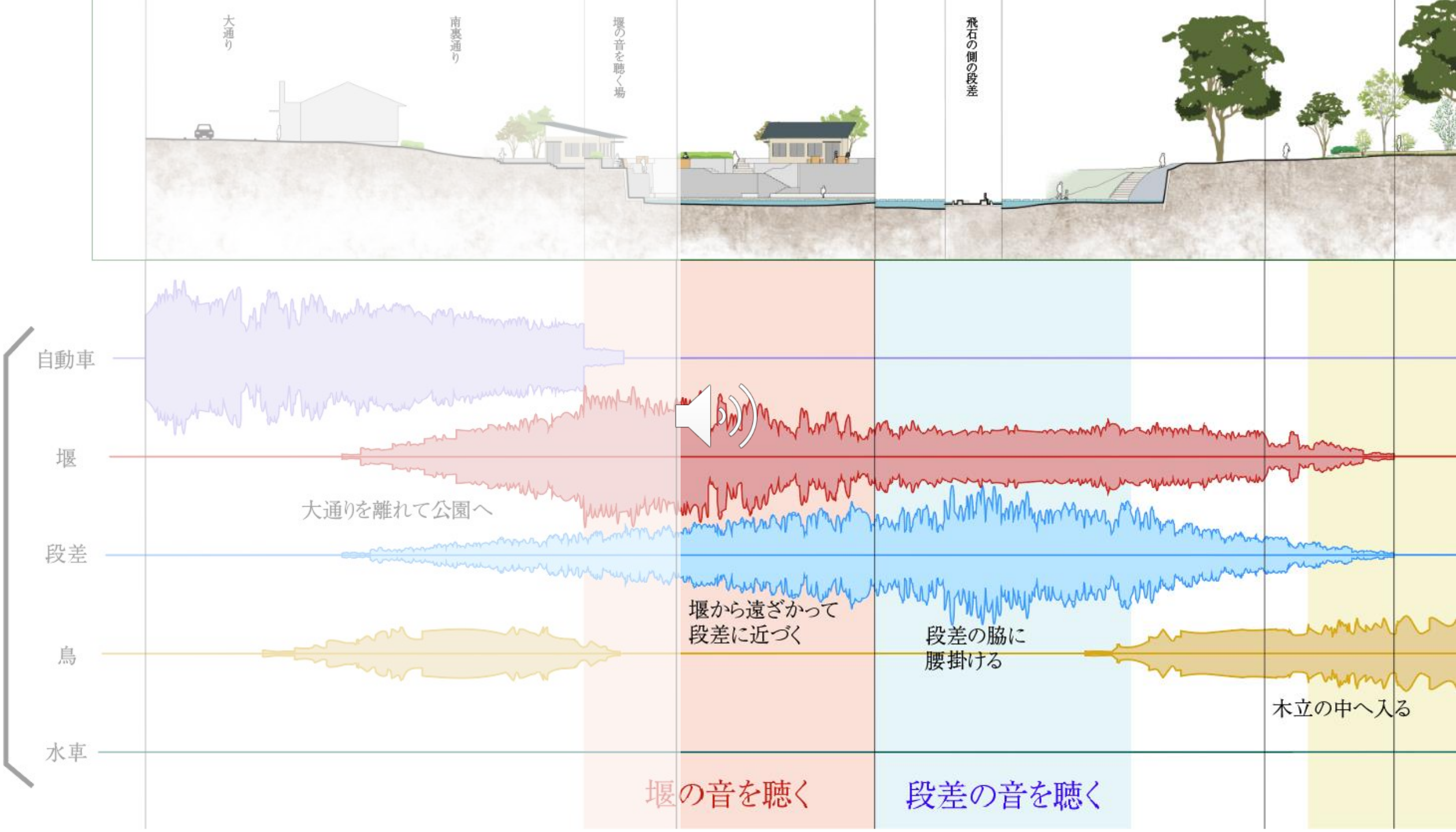


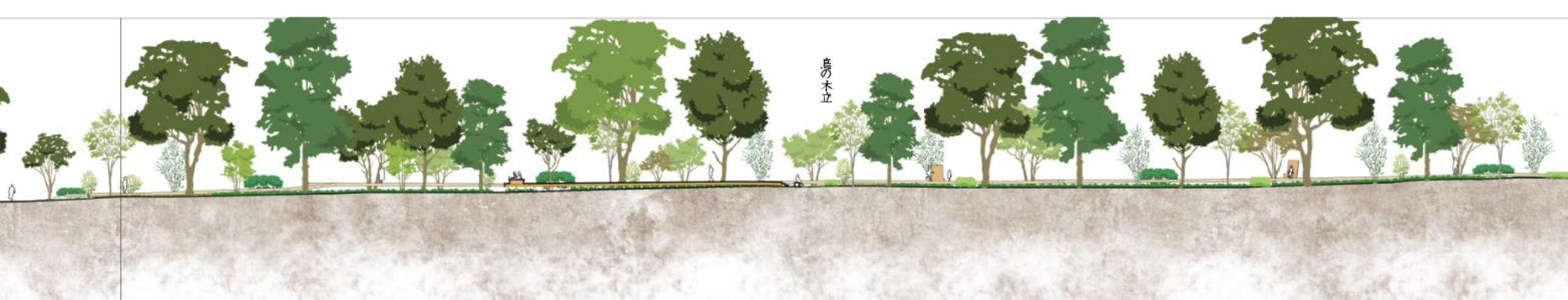
- 持たれやすい角度の擁壁を設けて園路より1m以上低い居場所を作る。
- 緩やかな斜面が、川に向かって座るのに丁度良い。
- 擁壁にもたれて座ると水車の音の影に入り、静かな水面と対岸の風景に意識が集中できる。

音の体験の連続









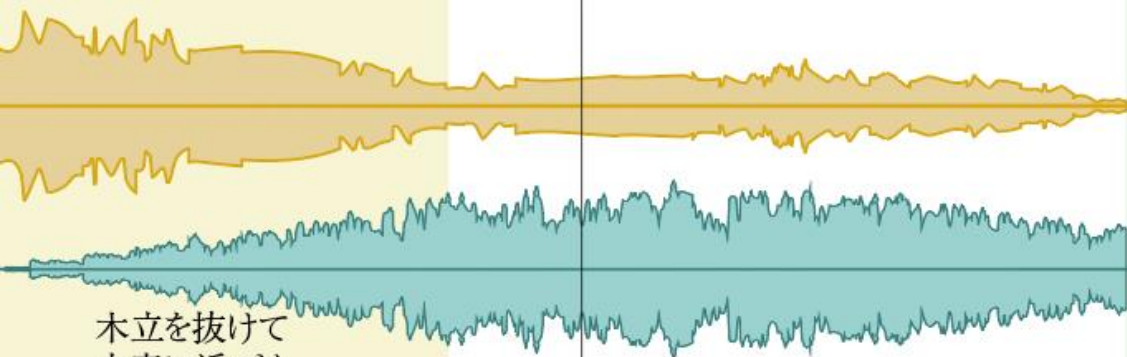
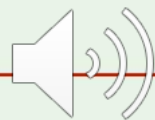
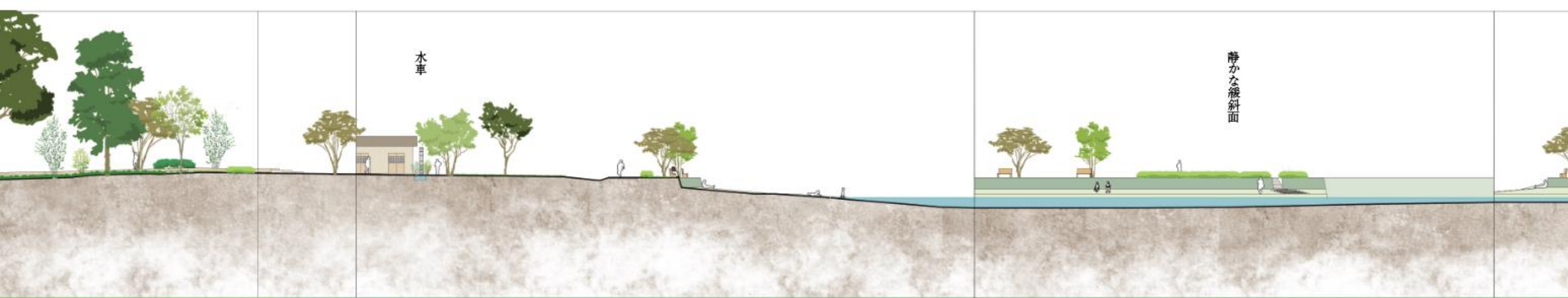
鳥の木立



木立の中へ入る

鳥の声を聴く

木立を抜けて
水車に近づく

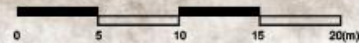


木立を抜けて
水車に近づく

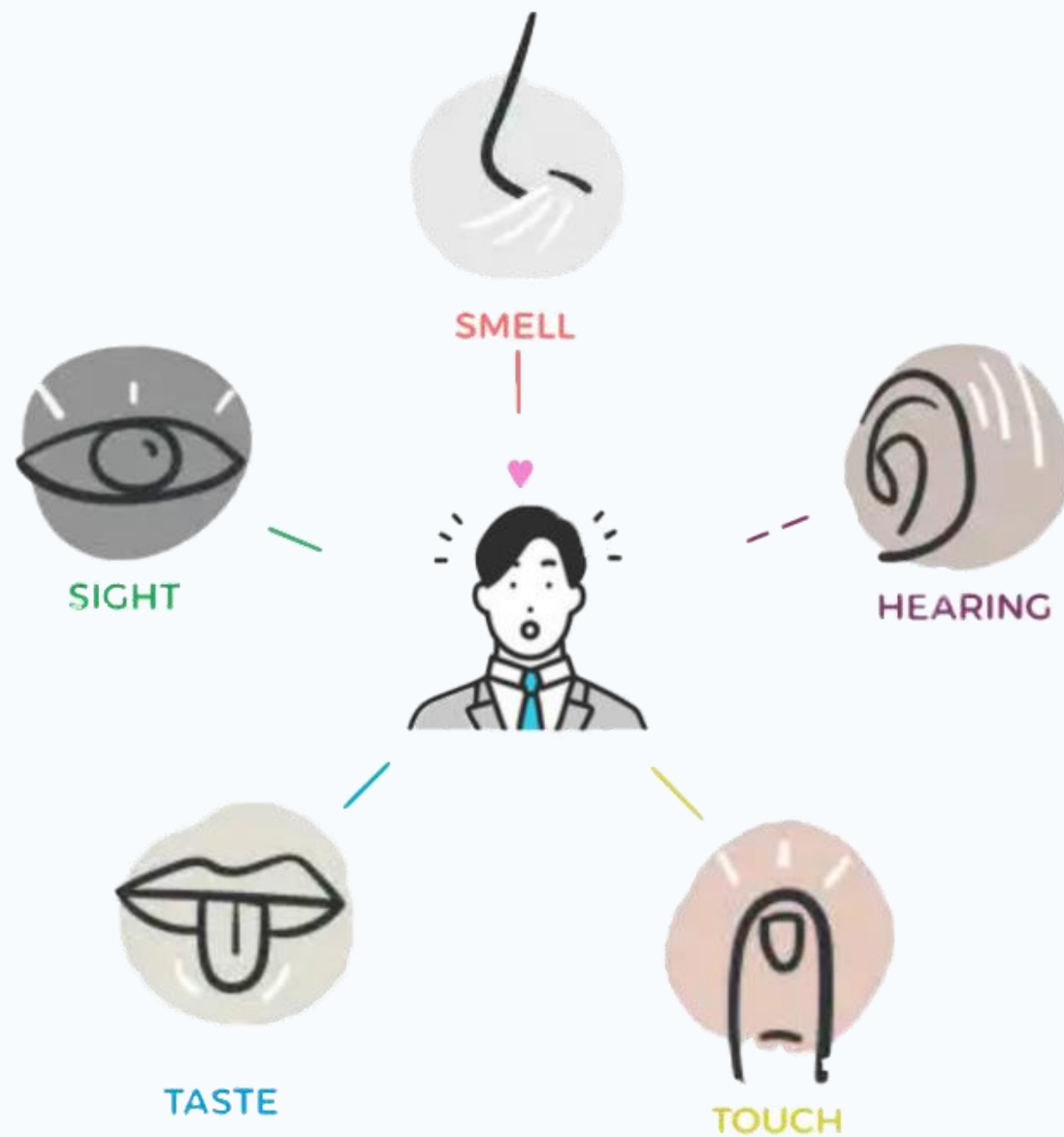
擁壁にもたれかかり、
水車の音の影に入る

静けさを聴く

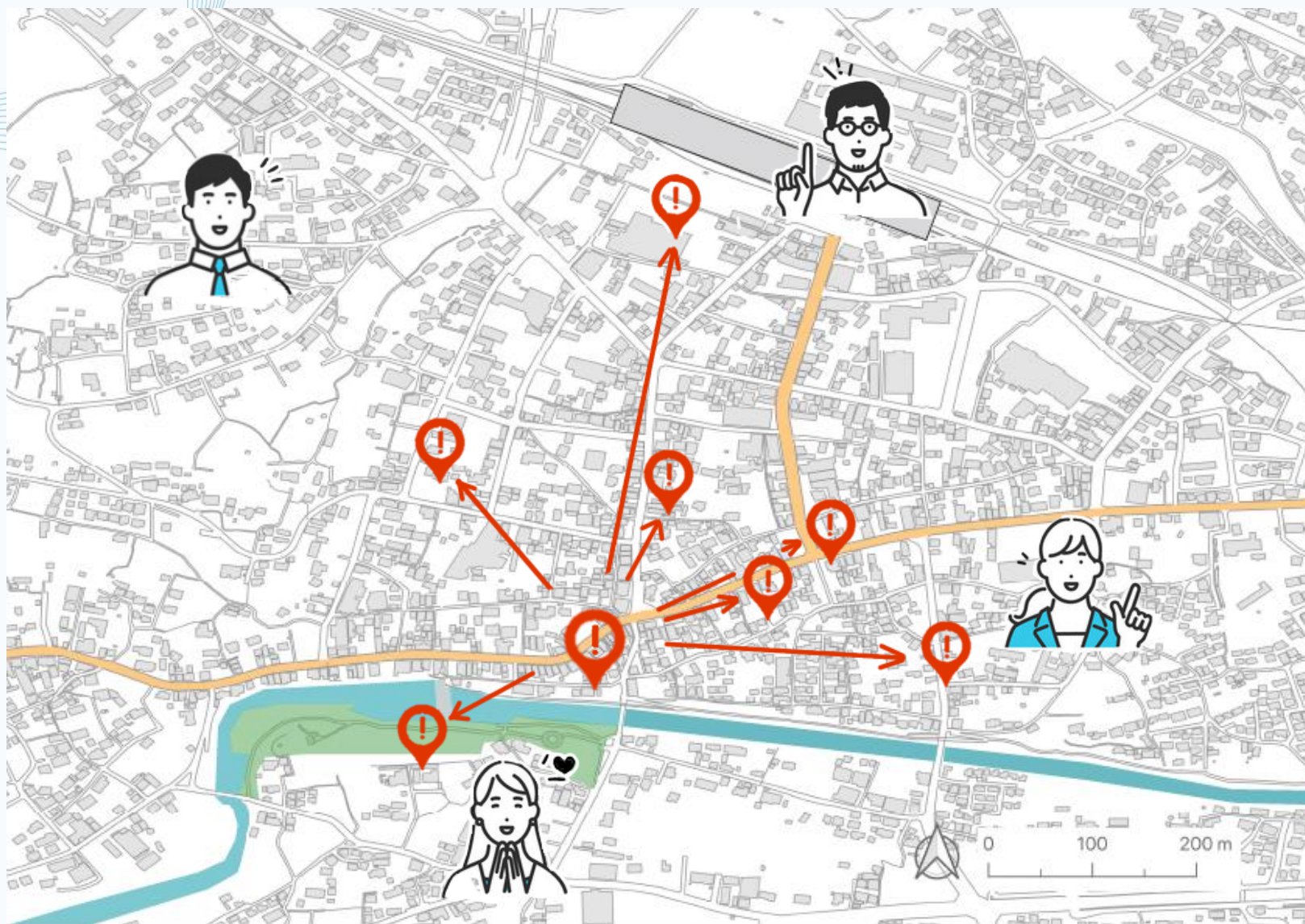
静かな緩斜面



静けさを聴く



感覚が刺激され、場所への新たな気づきを生み出す



親水公園での「気づき」を起点として、町中へ広がっていく